

## ドリームポート、デジタルコンテンツ配信プラットフォーム次世代版「SkeedCast 2」を発表 ソフトウェアライセンスによる提供を開始

株式会社ドリームポート(京都市中京区 代表取締役 美馬 敬 以下、ドリームポート)は、デジタルコンテンツ配信プラットフォーム「SkeedCast」の次世代版、「SkeedCast 2」を2009年12月8日に発表、新たにソフトウェアライセンスによる提供を開始しました。

ドリームポートはP2P技術開発の第一人者である金子勇氏を技術顧問に迎え、セキュアなASP型配信プラットフォーム「SkeedCast」を開発、日本で初めて大容量データの高速配信からデジタル著作権管理、課金機能までをワンストップで提供して参りました。この間、「SkeedCast」を自ら構築・運用する中で、独自技術を顧客のニーズに合わせて拡張することによりノウハウを蓄積してきました。

このたび、これまでの研究およびノウハウを投入した「SkeedCast 2」を開発し、また、「SkeedCast」の採用を検討する事業者からの自社の業務やサービスに適用したいとの要望に応えるため、ソフトウェアパッケージとしても提供可能としました。

「SkeedCast 2」は以下の通り、運用者およびエンドユーザのユーザビリティを格段に向上させ、性能や機能を充実しました。

- ・ 運用者に対するユーザインターフェースを全面的に見直し、コンテンツ投入から流通管理までを直感的な操作で行えるようになりました。
- ・ コンテンツに付与する属性データ(メタデータ)を細かく設定することで、自社のサービスに合わせた運用が可能となります。
- ・ 一度投入したコンテンツを運用上の理由により削除する必要がある場合、即時にネットワーク上での流通を停止することができます。
- ・ 流量及びダウンロード人数を時間・日・月・年単位、コンテンツ及びサイト単位で集計し、グラフ表示することができます。また、これらのデータはCSV形式で出力することができる為、運用者独自の分析が可能です。
- ・ コンテンツ管理システムや課金・認証システムなど、外部周辺システムとの連携が容易になったことにより、既に稼働中のシステムを活かしたままで「SkeedCast 2」を利用したサービスが実現できます。
- ・ エンドユーザが「SkeedCast 2」を使い始める際に必要なソフトウェアのインストール作業を大幅に



## SkeedCast とは

大容量、大規模なデータ配信を、ハイパフォーマンス、ハイセキュリティ、コストメリットをもって提供する SkeedCast。世界に誇るドリームボートの配信ソリューションです。

SkeedCast 2 では、コンテンツ配信に必要な全てのソフトウェアをラインナップし、小規模な構成から、大規模な構成までトータルにサポートしています。

## 株式会社ドリームボートについて

<http://www.dreamboat.co.jp/>

2005年4月、P2P技術を利用した新たなコンテンツ配信サービスを提供することを目的に設立。2006年秋、セキュアデジタルコンテンツ配信プラットフォーム「SkeedCast」を開発しサービス提供開始。コンシューマ向けエンタテインメントコンテンツの配信を始め、ビジネスユースの業務用データ、デジタルサイネージ等へも対応し、デジタルコンテンツ配信における業界標準を目指しています。

### お問い合わせ先

株式会社ドリームボート セールス&マーケティングディビジョン

TEL: 03-5487-1032 FAX: 03-5487-1037

E-mail: [press@dreamboat.co.jp](mailto:press@dreamboat.co.jp)

URL: <http://www.dreamboat.co.jp/>